

## む す び

本プロジェクトは、研究が開始された平成14年度から活発な研究活動が展開され、その成果は課題毎に800ページ前後に及ぶ年次成果報告書として発行されてきました。これらは全てインターネット等を通じて全文公開され、本プロジェクトに携わる研究者・技術者が情報を共有し、また研究成果を行政、報道や一般の方々に発信していくための重要な媒体となりました。

2年目からは成果報告のためのシンポジウムやデモンストレーション等が30回以上開催され、活発な議論や意見交換が行われました。研究の最終年度となる平成18年12月には21日から2日間に亘って東京国際フォーラム等で「総括シンポジウム」を開催し、約900名の参加者の方に5年間の研究成果の集大成を聞いていただきました。本報告書の内容に興味を持っていただき、さらに詳しい内容や情報を知りたい場合には、年次成果報告書を参照していただきますようお願いいたします([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kaihatu/jishin/04031203.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/04031203.htm) より全文公開中)。

最後に、本プロジェクトに参加いただいた研究者の方々、お忙しい中、本報告書の原稿をご執筆いただいた研究者の方々に感謝しますと共に、本報告書にお名前は載りませんが本プロジェクトの遂行を陰で支えていただいた関係機関の皆様にお礼を申し上げます。

文部科学省研究開発局地震・防災研究課

大都市大震災軽減化特別プロジェクト担当

奥野 智久 (平成17年7月～)

関口 宏二 (平成14年7月～17年6月)